

分科会① 「先輩からのメッセージ～受け継いでいくこと、伝えていくこと～」

NPO法人ぽっかぽか 田中 あや

分科会1では「先輩からのメッセージ ～受け継いでいくこと、伝えていくこと～」というテーマで、梶元氏（まきび病院/岡山県）、丸田氏（真光園/愛媛県）、富島氏（四国学院大学/香川県）の思いを聴かせていただいた。自分の家族に紹介できる病院にしたい、差別や偏見を解消するために活動してきたという思いを語っていただき、その中でも、おかしいと思うことをおかしいと言うことができているかという投げかけは後半のグループワークで議論したグループが多かったようだった。短いグループワークではあったが、他県の子供精神保健福祉士の活動や思いを知る機会となった。最後に先輩から後輩へ伝えたいことという話題で、自分の思いを先輩に話していくこと、同じ思いの仲間を作ること、知識を持って意見していくこと、おかしいと気づくことができること、柔らかい頭で考えていくことなどのアドバイスをいただき、分科会を終了した。

分科会② 「若手が語る『今』」

NPO法人ほっとねっと 渡部美貴子

参加者40名。参加者も1～3年目といった若い方の参加がほとんどであった。

テーマを若手が語る「今」として、広島県の2～5年目の会員8名が感じている悩みや不安をカードワークで吐き出しグループワークを重ねて出てきた本音や今振り返って思うことを発表された。それぞれワーカーになって出来て当たり前との思い込みや不満を言っただけではいけないのではないかと他のワーカーと本音で話をするのがなかったが、自己覚知や職場の待遇、地域で働く引け目、事務的な関わりなどの悩みをグループワークを重ねることで他の人はどう思っているのか、皆も同じようなことで悩んでいるとの安心感を得たり、意見を聞き咀嚼して考えることが出来たとの発表内容であった。

その話題提供を聞いて参加者もカードに自分が今気になっていることを書いてとりこの用紙に貼り付け、それを似ているもの同士集めて、気になるワードについてグループワークを行い、その後各グループで発表した。

一つのテーマの話を深めるというのではなく、似ている話題をまとめることで他の人も同じことを思っているんだとの安心感を得たり、ワーカー同士のコミュニケーションを図ったりすることを目的にしていたと感じた。

分科会③「医療機関における実践報告」

松山記念病院 藤原 あずさ

第 27 回 中四国精神保健福祉大会 広島大会 2 日目、私が参加したのは分科会③「医療機関における実践報告」である。3 名の方がそれぞれの実践を報告された。

その中で私がここを打たれたのは「医療機関の中で、「生活」を視点にどう専門性を発揮していくか考えなければならない」という言葉だ。私自身、医療機関で勤務しており「対象となる方の生活を支援していく専門職だ」との認識はもちろんあるが、実際、生活支援が出来ているかと振り返ると、正直疑問が残る。日頃の関わりを振り返ってみても、本当の意味で「退院後の生活を考える」ことはできていないのではないかと思う。

医療機関の中では「病院で問題なく出来ているから、退院しても大丈夫」という認識になってしまいがちで、実際の生活を視野に入れた支援がしにくい。だからこそ「生活を支援する」という視点を忘れず、また「自分が今、何をしていかなければならないのか」を常に考えながら、医療機関の中で実践できる精神保健福祉士でありたいと感じた一日だった。

分科会④「地域とその他の領域における実践報告」

NPO法人ほっとねっと ひだまり 藤岡 宗晃

分科会④では、初日の基調講演において柏木昭先生が新しく提唱された「トポス」について、自分なりにその理解を深める上で有意義であった。

先ず美馬ゆかり氏による、限界地域で年老いた父親と二人で暮らす精神障害のある方の生活支援についてお聞きする。トポスの示す「場」とは、「地域の拠点：人が生活し集まる場」であるから、一見、限界地域にはトポスは存在しないように思うが、むしろ古くから受け継がれる“人と人との絆”や“地域との強い結びつき”を活かすことで、その人らしい地域での暮らしの「場」を創ろうとするワーカーの姿勢に共感できた。

次ぎに水谷実和子氏は、市街地で施設サービスを提供する場合の「支援する」「支援される」という関係性の中で“対等”とは何かを熱く語られた。本来の福祉の視点に立った「寄り添い」とか「協働」について改めて考えさせられた。

お金をかければ立派な施設は建つが、それがトポスではない。私たちワーカーがメンバーに自己開示した上で向き合い、語り合い、心から傾聴する時、その場にトポスが創造されるのではなかろうか。



国際会議場（会場全景）



広島県会長あいさつ



大会長あいさつ



柏木基調講演



佐尾さん東北ボランティア報告



愛媛県からのスピーチ



県会からの参加（柏木先生と）



広島県会



懇親会風景



2日目分科会4
(左から梶元、丸田、富島)



大会を終えて



広島の画期的レンタサイクル
『のりんさいくる』



お好み村



お好み村 (桃太郎)



カキお好み焼き